

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

安倍政権による明文改憲を許さず、憲法9条を守り生かそう すべての子どもの成長と発達を保障する教育を発展させよう

2017年度

大障教定期大会

大障教は5月13日、大阪府教育
会館において2017年度定期大会
を開催しました。

執行委員長のあいさつに続き、来
賓として、障害者(児)を守る全大
阪連絡協議会(障連協)代表幹事の
井上泰司さんから、連帯のあいさつ
をつけました。

討論では12分會5専門部、18
人が発言しました。討論を受けての
採決により、すべての執行部提案が
圧倒的多数の賛成を得て決定しまし
た。

2017年度 大障教 定期大会



あいさつする戸田執行委員長

開会あいさつの中で戸田委
員長は、期限を切つて明文改
憲を主張し、多くの国民の声
を無視した安倍政権の暴走を
阻止するため、9条を守り生
かせの声をさらに大きく広
げていこうと訴えました。

討論では、HR教室が不足
し、窓が開けられない部屋ま
で転用した(枚方：佐々木代
議員)、トイレ不足で、常に長
蛇の列ができていて(東住吉
：平部代議員)、入舎基準が
一方的に変更され、8名の寄
宿舎入舎が取り消された(北
視覚：横山代議員)、給食の
民間委託化の突然の延期に
よつて、学校の信用自体がつ
ぶされた思いだ(豊中：金澤
代議員)、看護師の定数外配
置を実現し、教員数を確保し
たい(交野：岸下代議員)、
「常時子どもに付き添っている
保護者の負担は非常に大きい」
(交野：神原代議員)、臨時技
師(看護師)の勤務条件は悪す
ぎて、働き盛りの世代は仕事

執行部提案が圧倒的多数の
賛成を得て決定しました



を続けられない(箕面：藤嶋
代議員)など、不十分な教育条
件整備や府教委施策が、学校
現場に与えている深刻な実態
が語られました。

また、視覚支援学校卒業生
の進路保障のとりくみに「協
力を(北視覚：藤本代議員)、
「心の健康を害された教職員に
ついて、労災等を認めるよう
に働きかけていきたい(難波
：片倉代議員)、パワハラ防
止指針が実効力のあるものと
して、見直されることを願う」
(富田林：田中代議員)、北河
内宿泊教研は、障害児教育の
歴史が若い方々に引継がれて
いく重要な機会となっている」
(寝屋川：山岡代議員)など、
職場の厳しい状況や分会のと
りくみもリアルに報告されま
した。

専門部からは、現在無理だと言わ
れていることも、道理と運動があれ
ば実現可能だ(臨対部：玉城代議
員)、栄養教諭未配置校が全国に2
万もある状況では、複数配置の要求
はなかなか実現しない(栄養教員部
：武田代議員)、大障教となり、実習
教員の実態を把握するための調査を
行いたい(実教部：田中代議員)、
「尊敬する人がある人に若者は動
かされる。ベテランの先生方にはど
うか青年層のお尻をたたいてほしい」
(青年部：吉松代議員)、思いやりや
優しさ、笑顔が自然に出る職場はミ
スが無く効率の良い職場。それを
守っていくのが組合活動(女性部：
荒木代議員)などの報告がありまし
た。

さらに、世の中に視点を向けてい
なければ、障害のある子どもの教育
は守れない(泉南：奥野代議員)、
「大阪維新の会による民主主義教育の
破壊にストップをかけるために教職
員組合として果たす役割は小さくな
い(大手前：西田代議員)など、教
育を取り巻く状況を深める発言もあ
りました。

「父母とともに要求し、運動してこ
そ子どもの未来を開くことができる。
府立支援学校の建設計画策定を求め
る運動の強化の方針を支持し、全面
的に実践する決意だ(東大阪：杉本
代議員)という力強い発言で、討論は
締めくくられました。

大障教ホームページアドレス <http://www.1a.biglobe.ne.jp/fushou/> Eメール アドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp



「狙われるのは一般人！共謀罪がやって来
る！」もの言う自由と運動つづしが狙い「P
TAMAMAも犯罪集団！？」これらは女性週刊
誌に掲載された記事の抜粋です。安倍政権がオ
リンピックのテロ対策を口実に、今の国会での
成立を狙う「共謀罪」法案(組織犯罪処罰法改
正案)に対しては、様々な立場の人たちが警鐘
を鳴らしています。

日本や欧米など近代国家の刑法は、行為が伴
わない限り人を罰することができないのが大原
則です。しかし「共謀罪」は、犯罪行為をしな
くても、2人以上が犯罪を「計画」して「準備
行為」をしたと警察が判断すれば、処罰される
という恐ろしい法律です。

近代国家が成立するまでは、時の権力者の地
位を脅かし、謀反を起すのではと疑われたた
けで、何もしていなくても処刑されるという状
況が続いてきました。こうした歴史を経て、近
代以降は行為を伴わない限り刑罰を科すことは
できなくなりました。「共謀罪」法案が成立して
しまえば、日本の刑法は近代以前に逆戻りし、も
のを考えただけでも罰せられる社会を再びつく
ることになってしまいます。

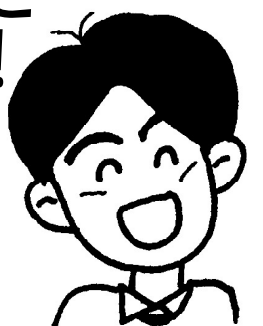
テレビ番組のコメントーターとして活躍され
ている大谷昭宏さんは、差別などが社会のゆが
みを生みそれがテロリストをつくりあげると
指摘しました。その上で、「格差社会になり、市
民社会が抑えつけられ、ものが言えない社会に
なると、テロ行為につながる危険性は十分にあ
るはず。共謀罪なんかをつくるより、逆にテ
ロリストを生み出す」などと述べ、「共謀罪」は
人間として反対すべき法案だと訴えています。

別ブロック
歓迎転任の
つどい

第2回 「北河内ブロック・そつだ！先輩に聞こう！」

初任者3人が組合加入！

楽しく、充実したひとときをすごしました！



4月15日、北河内地域の5分会(交野支援学校分会・四條畷校分会・寝屋川支援学校分会・枚方支援学校分会・守口支援学校分会)が合同で新歓のとりくみ、そつだ！先輩に聞こう！を行い、27人が参加しました。

好評だった「ちよつと先輩の話」！

今回は各分会でとりくんでいた権利学習に加え、新採2年目の組合員や、数年前に初任だった組合員の皆さんに、「ちよつと先輩の話」をお願いしました。始めにアイスブレイクとして、「お名前リレーゲーム」で楽しみながら互いの名前を覚えていきました。リラックとしたところで、3人の若い先輩たちが、新しく迎えた後輩のために今までの経験や教育に対する熱い思いを伝えてくれました。

「障害児教育の専門性を学ぶため、支援学校の教員免許がなくても採用される大阪府を他府県から再受験した」という熱い思いがまず語られました。授業については「ベテランも悩みながら授業作りをしているから、若い私たちと同じであり、何も恐れることはない、失敗を恐れずチャレンジすることが大事」「子どもたちにどんな授業をすればいいのか、ひとり一人に向き合い、100%準備した授業をする



お名前リレーゲーム

最後は「分会って何？」

「分会って何？」というコーナーでは、組合にはだれでも入れること、気持ちよく働けるように、また豊かな教育ができるように、教育と生活を守るのが組合であることを参加者に訴えました。若い教職員のために青年部が、「子どもにどう接したら良いのか」という悩みの相談や学習会を開いていることについても説明しました。また、各分会からは、学校の「過大・過密」と

教室不足、教職員の多忙さ、給食の民間委託化など、各学校が抱えている課題が報告されました。最後に、「知ろうとしない」とわからない」「一歩引いてみて改めて子どもの見方を知ることができる」「個人ではできないことも組織として交渉できる」など組合

活動の意義を語ってしめくり、新歓第一部が終わりました。第2部ではおいしい中華料理の円卓を囲んで、組合や教育への思いを一人ひとりなごやかに語りました。参加者アンケートには、「知らないことを聞くことができよかつた」「先輩の話

から多くのことが学べた」「自分から動いて吸収する必要性がわかつた」「できないこともちよつとずつ頑張りたいなど」前向きな感想が寄せられました。その日、3名の初任の先生の加入があり、嬉しく充実した新歓となりました。

勉強になった「権利学習会」

次に、年休の取り方や、妊娠・出産時等に関する女性の権利、給与明細の見方、「評価・育成システム」など、知っておくべき権利についても学習しました。

第2回

分会名：藤井寺支援学校分会

分会長：植松洋美

障害種別：肢体不自由校

児童生徒数：135人

どんな分会? : 4月に新転任の方を歓迎する「カレー昼食会」を行ったり、学期ごとにお弁当をみんなで食べたりと、和気あいあいとした雰囲気の分会です。普段は特に目立った活動はしていませんが、それは職場の雰囲気が良く、助け合いの「心」が根付いている学校だからだと思っています。見方を変えれば、分会の先輩方が築き、守り続けてきてくださった「心」だと思えます。

これからも「子どもたちのために」「教職員みんなのために」をモットーに、何でも気軽に話せる、相談できる「心」ある分会の輪を広げていけたらと願っています。



みんなの顔を見ながら
楽しくお話ししました